

みんなのぎかい

すもと市議会だより

2018.8.15 Vol.48



CONTENTS

6月定例市議会の概要・予算審査特別委員会	…(2)～(3)
常任委員会議案審査・議会日程	…(4)
予算審査特別委員会要望事項・議員研修・議決結果	…(5)
代表質問	…(6)～(7)
一般質問	…(8)～(11)
5月臨時市議会の概要	…(12)～(13)
議決結果・討論	…(14)
所管事務調査	…(15)
議会報告会・編集後記	…(16)

来年2月末まで1日4往復

試験運航中

皆さまご乗船ください



万円の補正予算を可決



6月定例市議会は、15日に竹内市長から平成30年度の市政運営に臨む施政方針と本條教育長から教育行政方針が示され、これに基づく一般会計の補正予算が提案されました。

市議会は予算審査特別委員会を設置し、25日から2日間、重点事務事業を中心に担当部署から詳しい説明を受け、慎重審査を行いました。7月4日、これら補正予算是本会議に提案され、4項目の要望事項を付けて全会一致で可決されました。ほかの議決結果は別掲のとおりです。

6月定例市議会には、平成30年度の補正予算として総額31億6500万円が提案されました。

2月定例市議会が、3月市長選挙の関係から、平成30年度の義務的経費を中心とした当初予算で、あつたため、今回編成された補正予算は、新規事業などの政策的経費を中心としたものです。

加えた予算規模は、一般会計で219億7500万円、前年度に比べて1億2500万円減(99.4%)でした。特別会計・企業会計を合わせた全会計では、380億1500万円となり、前年度と比べ4400万円の増額となりました。

6月定例市議会は、15日に竹内市長から

平成30年度の市政運営に臨む施政方針と本條教育長から教育行政方針が示され、これ

に基づく一般会計の補正予算が提案されました。

予算審査特別委員会

総務関係

プロモーション事業などを審査

Q 未来の担い手確保事業の奨学金返済支援事業について、人數や要件、周知方法は。

A 「財務部」15名程度を想定している。淡路島内の労働者不足に資する観点から、今年度4月以降の就労を原則と考えて

いるが、要件などは調整中である。要件が決まり次第記者発表を行い、新聞やインターネットでの波及効果に期待したい。あわせて県制度の活用も促していきたい。

Q 五色文化ホール施設整備事業の内容は。

A 「五色総合事務所」空調工事で、熱源設備の入れ替え工事を行う。

Q 洲本港発着の周遊バスは委託するのか。

A 「企画部」これから受託業者を



▲ドライブレコーダー

決定する予定である。周遊先は検討中である。

Q 中川原スマートインターチェンジの利用を促進するイベントはいつごろ予定しているか。

A 「企画部」淡路島観光協会と調整し、一日でも早く実施したいと考えている。

Q 2市1島(神戸市、芦屋市、淡路市、洲本市)プロモーション事業で南あわじの参加がないのはなぜか。

A 「情報部」当該事業の申請時ににおいて、南あわじ市は、地方創生推進交付金事業の申請可能上限数に達していたため、申請にはいたらなかった。

Q 公用車ドライブレコーダー設置について現在の状況や基準は。

Q 個人番号カードの交付枚数は。女性活躍のための住基システム改修とあるが。

A 「生活部」現在6702枚交付し14.77%、県平均は13.04%である。県内順位は41市町中7位である。個人番号カードに旧姓を記載できるようにする改修である。

Q 市民みまもりカードは、常に携行する必要があるのか。

A 「健康部」75歳以上の一人暮らしや障がいの方で、民生委員・児童委員が把握した方に配布。外出の際はできるだけ携行してくださいと伝えていた。

Q 妊娠・出産包括支援事業の内容は。

A 「総務課」すでに226台のうち28台に設置している。今回の予算で約40%に設置できる見込み。使用頻度や危険箇所を回る車両を優先している。

教育民生関係

市民生活・福祉事業費・図書購入費など補正予算を審査

市民生活・福祉事業費・図書購入費など補正予算を審査

Q 市民みまもりカードは、常に携行する必要があるのか。

A 「健康部」75歳以上の一人暮らしや障がいの方で、民生委員・児童委員が把握した方に配布。外出の際はできるだけ携行してくださいと伝えていた。

Q 妊娠・出産包括支援事業の内容は。

31億6500

補正予算の主な内容

(500万円以上の新規事業)

- Jアラート新型受信機整備 … 664万2千円
- 五色文化ホール施設整備 … 4,523万4千円
- 高田屋公園改修 ……………… 3,100万円
- 発信拠点施設 ……………… 4,300万円
- 市勢要覧・市民便利帳作成 544万4千円
- 洲本市PR図書製作 ……………… 3,890万円
- 授業におけるICT機器利用促進(小・中) …… 3,560万円
- フューチャースクール … 1,144万3千円
- 幼稚園施設環境改善 ……………… 636万円
- スマートIC利用促進 ……………… 517万円



▲市民みまもりカード

る。

Q 淡路島インバウンド対応推進事業負担金の中身は。

A〔振興部〕島内3市、淡路県民局、淡路島観光協会が9月に予定している世界旅行博のツーリズムEXPOジャパンへの出展費用と台湾の旅行会社などを対象にファムトリップ(現地観察)を実施する費用であ

Q 図書購入費が計上されているが、何冊ぐらいになるのか。
A〔教育委員会〕図書は約11000点を計画。DVDやCDなども購入予定である。

Q 新規事業の洲本市奨学金の応募方法は。

A〔教育委員会〕島内高校に募集する。希望者がいる場合は、選考委員会で審査し給付する。

Q 洲本幼稚園はトイレ水遊び場の整備である。

A〔教育委員会〕洲本幼稚園はトイレ水遊び場の整備である。

Q 幼稚園施設の環境改善整備はどんな内容か。

A〔健康福祉部〕母子の健康支援のため、昨年から「ままくらぶ」を実施している。今年度はイオンや、やまで会館で実施している。五色地域では予定していない。

産業振興・都市整備など補正予算を審査

産業建設関係



▲グリーンベルト施工状況

Q 老朽危険空き家のプロック塙は危険空き家除却支援事業補助金の対象となるか。

A〔都市部〕危険空き家の附属施設として、合わせて解体する場合、対象となる。

Q 通学路グリーンベルトはどのように整備されているか。

A〔都市部〕学校周辺では、ほぼ終了している。今後は通学路合同点検などで要望を受けた道路を対象に考える。

Q 空き家の情報を住民が直接都市計画課へ提供するのは可能か。

A〔都市部〕可能である。洲本土家等の適正管理に関する条例施行規則では、原則として自治会の代表者からとなつている。

議案審査

総務常任委員会

いじめ問題対策連絡協議会等設置条例など審査

Q いじめ問題で重大事態は今まであったのか。

A 「企画部」教育委員会に確認しているところでは、重大事態は発生していない。

Q いじめ問題調査委員会は常設なのか。

A 「情報部」常設ではない。重大事態が発生した場合、速やかに組織を立ち上げ対応する。

Q 東京都23区ではホテルが予約しにくい状況でもあり、宿泊料の値上げは仕方ないと思う。今後、料金が変動し、ホテルの宿泊料の値下げがあった場合は見直しを行うのか。

A 「総務部」今回の改正は、東京オリンピック開催のため、宿泊施設の需給関係の影響による増額であることから、オリエンピック終了後の状況の変動

により、旅費法の改正などがある場合、減額措置を行う可能性も認識している。

Q 東京事務所の開設も将来的に必要ではないのか。

A 「総務部」都内にアンテナショップの開設を予定していることも踏まえ、今後、事務所開設について検討をしていきたい。

Q 東京事務所の開設も将来的に必要ではないのか。

A 「総務部」都内にアンテナショッ

プの開設を予定していることについて検討をしていきたい。

Q 保険給付費が増えた経緯は、結果が間に合わなかったので、仮算定結果を基に積算した。

A 「市民部」当初予算の際には、県の事業費納付金などを本算定結果が間に合わなかったので、仮算定結果を基に積算した。

補正は本算定結果に基づき増額している。違いは、算定に用いる医療費を直近の3年間の数値とし、診療報酬の改訂を加味している点。そのため、保険給付費の増が生じた。

Q 保険給付費の増額は、被保険者に負担がかかるのか。

A 「生活部」本算定結果の納付額に基づいた税率設定となつており、今回増えることにより被保険者に負担がかかることはない。

Q 特別徴収金の額の改正内容は。

A 「産業振興部」特別徴収金の徴収に「農地中間管理機構関連事業」の内容を加えた。事業終了後8年を経過しない間に農用地を設定を解除した場合には相応額を特別徴収する内容である。

Q 特別徴収金の額の改正内容は。

A 「産業振興部」特別徴収金算出根拠を「当該転用農用地に割り振つて得られた額」となっていたところを、「当該転用農用地の『面積』に割り振つて得られた額」とし面積の二文字を追記することで説明を明確にするための改正内容である。



▲首都圏でのPRイベント

教育民生常任委員会

保険医療費の補正予算などを審査

土地改良事業分担金徴収条例の改正を審査

議会日程

6月8日	告示 常任委員長会
6月12日	議会運営委員会 議会報編集特別委員会
6月15日	本会議第1日 教育民生常任委員会
6月20日	本会議第2日 (代表質問4会派)
6月21日	本会議第3日 (一般質問4議員) 議会運営委員会
6月22日	本会議第4日 (一般質問3議員)
6月25日	予算審査特別委員会
6月26日	予算審査特別委員会
6月27日	総務常任委員会 教育民生常任委員会 産業建設常任委員会
7月4日	本会議第5日(採決)
8月3日	議会報編集特別委員会



議員研修

◆4月25日

本年4月兵庫県より洲本市
理事に就任された中野恭典理
事より「地方財政の現状と課
題。」

- ◆5月28日
- 1. 地方財政の概要
 - 2. 人口減少社会の到来
 - 3. 洲本市の財政状況などについて講演
をいただきました。

◆7月23日

大昭和精機株式会社
淡路工場を見学

自然と環境に恵まれた五色



▲大昭和精機(株)淡路第二工場

者であった小松議員より、概要などの説明を受けました。

町で最新鋭の設備と高品位の生産を追求し、業界世界一をめざす。このたびはメガテクニカルセンター、淡路第二工場、物流センター（約4万坪）を見学しました。

◆7月26日

淡路3市議員研修会が吉備
国際大学南あわじ志知キャン
パスで開催されました。
「国内インバウンドのメガト
レンドと淡路島が取るべき道！」
と題し、(株)船井総合研究所の
柄尾佳亮氏より講演をいただきま
きました。

6月定例市議会 議決結果一覧

全員賛成の議案等

提出者	件 名		議決結果
市長提出	報告第6号	国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	承認
市長提出	議案第49号	一般会計補正予算（第1号）	原案可決
市長提出	議案第50号	国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
市長提出	議案第51号	いじめ問題対策連絡協議会等設置条例の一部改正	原案可決
市長提出	議案第52号	職員等の旅費に関する条例の一部改正	原案可決
市長提出	議案第53号	税条例等の一部改正	原案可決
市長提出	議案第54号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決
市長提出	議案第55号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決
市長提出	議案第56号	土地改良事業分担金徴収条例の一部改正	原案可決
市長提出	議案第57号	農業委員会委員任命	原案同意

※表記は、正式な名称ではありません。

代表質問

宙(おおぞら) 小松 こまつ 茂 じゅう

代表質問

'志'(じ) 木戸 隆一郎 ときどりょういちろう



宙として1市への機運を高める取り組みを行う(意見)

Q

淡路関空航路就航支援事業として5月に6千円を交付したばかり。航路の維持を前提として交付したと認識しているが、今回の航路休止表明に対し、どのように考へているか。

A

「市長」事前に相談もなく、6月12日に突然一方的に言い渡され驚愕した。6月14日に淡路広域行政事務組合から、「3市として受け入れがたく再検討を求める」と申し入れた。今後、淡路関空ラインの再検討の結果を踏まえながら、淡路3市と県で協議し対応を検討していく。

Q

淡路島

平成30年度末には13万人を切ると考えられる。定住自立圏に南あわじ市も参画とのこと、広域的な課題、地

域公共交通の取り組みなど進展を期待する。将来的な1市に向けた市長の考えは。

A 「市長」広域的な共通課題の解決を進めていくことで、

「淡路島はひとつでなければ」との機運が盛り上がっていく中で、淡路3市が連携し、切磋琢磨しながら共存していく形を模索することが、一番好ましいと考える。

Q

子牛価格の上昇にも関わらず和牛繁殖農家の減少は止まらない。新温泉町では地域おこし協力隊制度を利用して畜産への就農を図っている。本市でも新規就農希望者の畜産への誘導策を検討してほしい。

A

「市長」平成28年度までの3年間で新たに4名が繁殖経営に取り組んでいる。親方制度や施設・機械のマッチング制度などの新規就農対策を基本に、繁殖経営の希望者が円滑に就農できるよう取り組みを進めていく。

地域防災力の中核を担う消防団員について、全

くのオフィス機能を誘致することことで、首都圏や大都市圏から雇用の流入につながると考えるが。

Q

「市長」団員定数や分団配置は地区の面積や実情、地域の人口減少、高齢化の中で、地域の実情に合わせた定員の見直しや機能別分団・団員の配置が必要と考えるが。

Q

いわゆるーT企業などはオフィス機能を誘致することことで、首都圏や大都市圏から雇用の流入につながると考えるが。



三市連携の先にある淡路島一市に向けての機運醸成を

A**Q**

たい。

子育て支援センターの施設環境のさらなる充実は。一部を改修し、利便性向上に努めた。今年度より、インストラクターを各1名増員し、平日

に開設する。今年度より、インストラクターを各1名増員し、平日

には13万人を切ると考えられる。定住自立圏に南あわじ市も参画したこと、広域的な課題のこと、地

に開設する。今年度より、インストラクターを各1名増員し、平日

A**Q**

「市長」昨年度両センターの一部を改修し、利便性向上に努めた。今年度より、インストラクターを各1名増員し、平日

A

「市長」昨年度両センターの一部を改修し、利便性向上に努めた。今年度より、インストラクターを各1名増員し、平日

A

「教育長」有利な財源を活用計画的に整備を進めたい。



放課後児童クラブ、子ども教室を学校敷地内で実施できるよう要望

Q 放課後児童クラブ、子ども教室は、担当部署が違うが、安心して通える場所、学校敷地内で実施できるよう進めてもらいたい。

A 「教育長」学校施設の使用状況なども踏まえ、安心して過ごせる放課後の居場所づくりの充実へ、関係部局に調整を図らせている。

Q マートインターチェンジの利活用の質問をしてきたが、府内での検討会議など進捗状況は。

A 「市長」周辺地域で、神戸淡路鳴門自動車道に直結する新たな交通ネットワークが構築され、人やものの動きをしっかりと受け止め、民間事業者の動向にも注視しながら、地域活性化策を検討していく。

Q 放課後児童クラブ、子ども教室は、担当部署が違うが、安心して通える場所、学校敷地内で実施できるよう進めてもらいたい。

A 「教育長」学校施設の使用状況などを踏まえ、安心して過ごせる放課後の居場所づくりの充実へ、関係部局に調整を図らせている。

Q マートインターチェンジの利活用の質問をしてきたが、府内での検討会議など進捗状況は。

A 「市長」周辺地域で、神戸淡路鳴門自動車道に直結する新たな交通ネットワークが構築され、人やものの動きをしっかりと受け止め、民間事業者の動向にも注視しながら、地域活性化策を検討していく。

Q 放課後児童クラブ、子ども教室は、担当部署が違うが、安心して通える場所、学校敷地内で実施できるよう進めてもらいたい。

A 「教育長」各小学校の道德担当者で意見交換し、研修を重ねてきた。ようやく生きるための基盤となる道徳性を養う、そのためにより充実した道徳教育を推進していく。

Q 教職員の負担軽減、職員を増やすなど根本的な対応が必要でないか。

A 「教育長」教職員の人員配置については、学校から常要点が出てられる状況であり、教育委員会としても、県教育委員会をはじめ関係部署へ要望を続けていきたい。

Q 道徳の教科化では、検定教科書の使用が義務づけられ、数値ではなくほめること・励ますことを基本とした記述による積極的評価とされている。保護者や先生方の意見・問題点も聞き、授業を進めてもらいたい。

A 「教育長」各小学校の道德担当者で意見交換し、研修を重ねてきた。ようやく生きるための基盤となる道徳性を養う、そのためにより充実した道徳教育を推進していく。

Q 高校生までの医療費無料化は。

A 「市長」高校生までの入院医療費を無料化する（所得制限あり）。通院医療費に関しては、財政的負担も大きいので今後慎重に研究する。

Q 高校生までの医療費無料化は。

A 「市長」中学校への設置は終えた。本年度は夏休み期間中、小学校5校へ設置工事を実施する。

Q 小中学校へのエアコン設置は。

A 「市長」町内会が管理する街灯を4月から7月までの期間で、工区割などを含めた事前準備を行い、8月から来年1月までの間で、順次取り替え工事を実施する。

Q 灰口漁港活性化は。

A 「市長」北前船の歴史の情報発信などをを行い、更なる観光振興による交流人口の拡大を目指す。また、来年は田屋嘉兵衛翁生誕250周年記念行事を実施する。

Q 高校生までの医療費無料化は。

A 「市長」平成25年度から、全長216メートルの防潮堤工事を進めている。浮体式陸閘ゲートを含め、本年度中に完了する。陀仏川樋門整備は平成31年3月末完成予定。

Q 灰口ポンプ場建設は。

A 「市長」灰口、塩屋地区の低地区域を対象とし、時間雨量60・5ミリの雨水排除を想定した整備をする。平成32年度中に完成を予定。

Q 淀浜ポンプ場は。

A 「市長」内町・外町地区の低地区域の浸水防除を目的とし、雨水ポンプ設備の長寿命化工事を今年度中に実施。

スピーリ!! ここが聞きたい

清水 茂 P.8

- 中心市街地の整備について
- 地域情報化の推進について
- 防災に関する学習等について

間 森 和 生 P.9

- 子育て環境の充実と教育条件整備について
- 農業・漁業振興について
- 直営診療所の再編について

中野 隆子 P.9

- 洲本の魅力の創造・発信について
- 女性の活躍について

高島 久美子 P.10

- 家庭教育について
- 生活環境について
- 地域交通の充実について

氏田 年行 P.10

- 観光の振興について
- 定住促進事業について
- 鳥獣害対策について

狩野 指史 P.11

- 自然エネルギーを基盤とした新産業創出について
- 農と食を基盤とした地産地消の取り組みについて

片岡 格 P.11

- 施政方針について

※ここに表示した質問項目は、定例市議会で実際におこなった質問を全て記載しております。ただし、各記事に全ての質問・ 답변が掲載されているとは限りません。

定例市議会の議録は市の図書館でご覧いただけます。市ホームページ内の市議会議録検索でご覧ください。

なお、掲載時期については、定例市議会終了からおよそ2カ月後の予定で議会事務局ホームページにてお知らせいたします。

課題解決に役立つもの
りといった各分野での
地域情報化が推進されることは、防災、観光、
福祉、教育、まちづくり

A

地域情報化の推進
（都市整備部長）

Q
ることは。
地域が期待でき

Q
ることは。
ICTやI-O-T

の活用により、地域情報化が推進されることは、防災、観光、
福祉、教育、まちづくりといった各分野での課題解決に役立つもの

クなどを最大限に活用し、観光交流の活性化とさらなる中心市街地としての拠点機能の充実を図っていく。

A
今後の中市街地においては、利便性の高さや魅力ある歴史・文化の既存ストックなどを最大限に活用し、観光交流の活性化とさらなる中心市街地としての拠点機能の充実を図っていく。

Q
備方針・考え方は。

Q
中心市街地の整備方針・考え方は。

Q
学校における防

疫教育について
（総務部長）

ことは。
地域が期待でき

ことは。
ICTやI-O-T

の活用により、地域

地域情報化が推進されることは、防災、観光、
福祉、教育、まちづくり

ことは。
地域が期待でき

ことは。
地域が期待でき

ことは。
地域が期待でき

と考えておおり、ひいては、豊かで快適な地域社会の実現に寄与できるものと考えている。

（企画情報部長）

と考えておおり、ひいては、豊かで快適な地域社会の実現に寄与できるものと考えている。

（企画情報部長）

A
学校での防災教

育は、災害発生のメカニズムなどの知識・理解を深めるとともに災害時に自分の身を守る方法や共助の精神、人間としてのあり方を考えさせるなど、総合的に行なっている。

（教育次長）



▲にぎわいあふれる中心市街地商店街



暮らしやすい「まち」をつくるために

清水 茂
(あおぞら)



人に環境にやさしいまちづくり

高島久美子（宙）
たかしまくみこ（あめ）

家庭教育支援

Q 子育てに大変な親御さんへの支援は。

A 助産師、または保健師の訪問による育児相談、乳児対象の「乳児すくすく子育て相談」、幼児対象の「のびのび子育て相談」、助産師による24時間体制サポートの「母子健康包括センター」、園庭開放など重層的に支援している。（健康福祉部長）

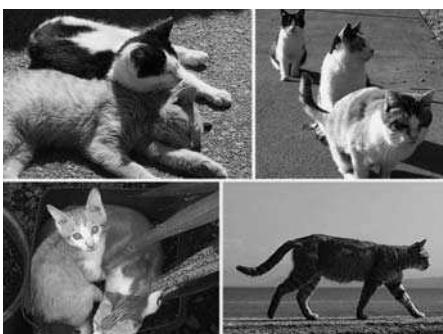
生活環境

Q 大型ごみの有料化によって、ごみの量や不法投棄の件数はどう変わったか。

A 平成29年度の大形ごみの収集件数は約4件、2057個。

地域交通の充実

Q 高齢化・過疎化により交



▲命の大切さも考慮した野良猫の管理を

Q 淡路島は野良猫が多いが、神戸市のように猫の不妊去勢術を行えないか。

A 野良猫による生息環境の悪化を防ぐため、県や近隣市と連携協議を行って

Q いくが、現時点では有効な手立ての予定はない。（市民生活部長）



▲箱わなで捕獲したイノシシ

Q 鳥獣害対策として箱わなの遠隔監視や遠隔閉扉など情報

Q 対策として大型ごみの有料化によって、ごみの量や不法投棄の件数はどう変わったか。

（産業振興部次長）

通学交通費の助成についての要望

氏田年行（宙）
うじたねゆき（あめ）

洲本市在住の16歳以上の高校、大

学、各種専門学校などへ通学している通学者の状況はどのように把握されているのか。

A 島外の高校に進

学した生徒で、高校3年生までの年齢に該当する生徒は、11名、そのうち、県内は61名、県外は57名である。現在の居住実態については、教育委員会並びに卒業した中学校でも完全に把握していない。（教育次長）

通信技術（ICT）を駆使した対策の普及が全国的に進んでいる。

本市でのICT技術の導入はどのようになっているのか。

A 本市でもICT

技術を活用した鳥獣害対策については一部実施している。今後も、ICT技術の動向を注視しつつ、新技術

の導入を検討する。

（産業振興部次長）

Q インバウンド対策としてFree Wi-Fiの整備や観光案内所でのインバウンド対応や案内表示板の多言語化対応など、どのように考えているのか。

A 市内の主要施設Wi-Fiの設置を実施。13カ所にFree

Wi-Fiの設置を実施。観光案内所では日常会話程度の英語で対応している。案内表示板は英語表記を実施しているが、ほかの言語も今後検討する。淡路島日本遺産の案内看板は、QRコードによる英語、中国語、フランス語に対応することができる。



5月臨時市議会の概要



議案第47号「新洲本市総合計画」を審査

6項目を要望して議決

5月臨時市議会は、5月15日に招集され会期中に、報告3件、議案2件、決議案1件が提案されました。議案第47号「新洲本市総合計画」については、新洲本市総合計画審査特別委員会を設置し、15日から24日まで4回の特別委員会を開催し審査しました。特別委員会は、付託された議案第47号「新洲本市総合計画」についての詳細な説明を受け、慎重審査を行い6項目の要望事項を付して本会議に提案し全会一致で可決されました。他の議決結果は別掲のとおりです。

序論・基本構想について

Q 10年前の基本構想の検証はどうように実施されたのか。

A 「企画部」後期基本計画の全6

章、148の主要施策を6段階で評価し、今回の新たな総合計画を策定するにあたり、振り返り作業を行った。

Q 急速に変化する社会情勢のもとで、総合計画は毎年見直す必要があるので。

A 「企画部」総合計画そのものを毎年見直すことは難しいが、毎年見直すことは難しいが、個別計画などの事業についても、随時、進捗状況を確認していく。

A 「企画部」策定に向けての期間が短かったため、特にアンケート調査は実施しなかつたが、洲

「新洲本市総合計画」の構成	
【序論】	計画の概要
第1章	洲本市の現状と課題
【基本構想】	まちづくりビジョン
第1章	まちづくりビジョンの実現に向けた基本目標
第2章	施策の体系
第3章	
【基本計画】	
第1章	市民生活と地域を支える社会基盤の充実
第2章	自然環境の保全と暮らしやすさとの調和
第3章	市民が活躍できる地域と仕組みの構築
第4章	郷土愛の醸成と次代を担う人材の育成
第5章	地域産業の育成と新産業の創造
第6章	生きがいとやすらぎを実感できる環境の創出

基本計画について

本市総合戦略」作成時に収集した比較的新しいデータを活用した。また、テーマを決め、中高生のワークショップを実施した。さらに、アンテナショップなどで外部意見を聴取した。

Q 本市の戦略による将来人口の出生率は2・1。しかし、実際にには1・41に落ちており、目標を達成するためには、相当の覚悟がいると考えるが。

Q 濃路島中央スマートインター チェンジ周辺の今後の土地利

A 「企画部」現状と目標数値が乖離していることは認識している。そのため、目標数値に少しでも近づくため、あらゆる施策を講じる必要があると考えている。



用はどのように考へているのか。

【A】「企画部」官民連携し、周辺の土地利用を考えていく。

【Q】老朽危険空き家への対応についてどのようになっているか。

【A】「都市部」周辺に危険を及ぼす場合は解体に必要な支援を実施する。

【Q】南海トラフ巨大地震への対応については。

【A】「総務部」防災拠点施設の整備、防災訓練、防災学習などの支援、また、防災備蓄物資の計画的な購入などで対応するほか、「(2)大規模災害への備え」の項目で示している。

第2章

【Q】廃棄物の不法投棄への対策はどうになっているのか。

【A】「市民部」町内会と連携して必要であれば監視カメラの貸出や警告看板の設置を行う。

【Q】洲本市空き家パンクについて、宅建業界との連携はどうようにならぬか。

【A】「企画部」兵庫県宅地建物取引

業協会淡路支部とは、協定書を締結し、当協会に登録されている不動産事業者が持つている物件の持ち込みを一部認め、物件の確保に努めている。

【Q】地区別まちづくり懇談会はなぜ、年一回一地区のみの開催なのか。

【A】「企画部」要望などが取りまとめできている地区から対応している。

【Q】町内会への加入率が低下しているが、市として対策を講じているのか。

【A】「企画部」具体的な策はないが、連合町内会などと共に努力していきたい。

【Q】行政における女性管理職への登用を働きかけるとあるが、数値目標として示せないか。

【A】「総務部」数値目標の設定は難しいところである。今後は、現在の女性管理職の割合6%を徐々に高めていく予定である。

第3章

第3章

の児童減少の問題も解決できと思われるが、本市がリーダーとなって淡路一市構想を実現する決意を記載してはどうか。

【A】「企画部」新たな広域行政的な取り組みとして、本市が中心市宣言を行っている「定住自立圈構想」をまずは全島的に推進していく。

【Q】図書館の開館時間を延長することで、利用者を増やす計画はあるのか。

【A】「教育委員会」洲本図書館において、7・8月は閉館時間を1時間延長し、10時から19時まで開館している。

【Q】農業の担い手、集落営農、新規就農者の数値目標はないか。

【A】「農業振興部」目標は掲げていないが、維持・増加させていきたい。

【Q】放課後児童クラブの充実があるが、国は6年生までとし

【A】「産業振興部」目標は掲げていないが、維持・増加させていきたい。

【Q】本市の健康寿命と目標は、クラブを進めてほしい。

【A】「健康福祉部」子ども教室と児童クラブのあり方を協議中である。

【Q】子育て支援として切れ目なく、放課後子ども教室・児童

【Q】インバウンド誘客に対しても、観光協会と行政の役割は。【A】「産業振興部」海外に向けてのプロモーションであるファムトリップなどは観光協会、ハード面での整備を行政で行つていきたい。

【A】「企画部」今年度は利用申し込み数が多く、受け入れができるいない。

【Q】子育て支援として切れ目なく、放課後子ども教室・児童

ている。5～6年生への対応は。【A】「健康福祉部」今年度は利用申し込み数が多く、受け入れができるいない。

【Q】子育て支援として切れ目なく、放課後子ども教室・児童

【Q】子育て支援として切れ目なく、放課後子ども教室・児童

【A】「健康福祉部」男性79・32歳、女性84・08歳である。平成22年～27年の5年間で男性2・32歳伸びている。今後も同じペースで伸びさせていきたい。

【Q】新規就農者の数値目標はないか。

【A】「農業振興部」目標は掲げていないが、維持・増加させていきたい。

【Q】放課後児童クラブの充実があるが、国は6年生までとし

第6章

要望事項

- 将来人口の推計において、平成27年合計特殊出生率が1.41にとどまったことが考慮されていない。将来人口（戦略人口）を確実に達成するため、洲本市総合戦略で掲げた以上により積極的な施策を展開されたい。
- 各計画の目標指標、目標数値の設定に一部バランスを欠くものが見られる。施策の推進に当たっては、PDCAサイクルを確実に適用し、隨時見直しを行われたい。
- 洲本港、洲本バスセンター、市内主要観光施設などへの多言語案内板の設置、Wi-Fi設置などインバウンド対策施策を推進されたい。
- 淡路島の中心都市として、本市のみならず淡路島への移住・定住を促進する観点から、南あわじ市、淡路市、兵庫県が設置している「淡路島に住もう促進協議会」「あわじ暮らし総合相談窓口」と密接に連携した移住・定住促進施策を推進されたい。
- 生活習慣病の発症や重症化を予防するため、低迷している特定健診受診率向上のための施策を強力に推進されたい。
- 新洲本市総合計画の上程が5月臨時会となつたため、平成30年度肉付け予算が通年より約100日遅れる見込みである。事務事業の推進に万全を期し、市民生活に支障を来すことのないよう努力されたい。

5月臨時市議会 議決結果一覧

賛否のわかった議案

提出者	件名	議員名	議決結果	近藤昭文	間森和生	中野章二	小野高島久美子	清水茂	氏田年行	小松茂	片岡格	狩野輝史	先田正一	笹田守	木戸隆一郎	上田昌孝	地村耕一良	木下義寿	柳川真一
議員提出	決議案第1号	2025年国際博覧会の誘致に関する決議	原案可決	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

※議長（福本 巧）は表決には加わらない。
しかし、賛否同数時のみ表明し、議案の賛否を決定する。
○は賛成、×は反対、△は欠席。

全員賛成の議案等

提出者	件名	議決結果	提出者	件名	議決結果		
市長提出	報告第3号	国民健康保険税条例の一部改正	承認	市長提出	議案第47号	新洲本市総合計画	原案可決
市長提出	報告第4号	税条例の一部改正	承認	市長提出	議案第48号	人権擁護委員候補者の推薦	原案可決

※表記は、正式な名称ではありません。

2025年国際博覧会の誘致に関する決議

我が国は、2025年国際博覧会の開催に立候補し、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、関西地域の大坂府を会場として開催することを目指している。

2025年に「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする国際博覧会を大阪・関西が一体となって開催することは、新たな産業や観光のイノベーションが期待できるなど、大きな経済効果をもたらすとともに、全世界に向けて圏域の存在感を示す絶好の機会となり、極めて大きな意義がある。

また、このような国際博覧会の開催は、圏域全体のみならず、兵庫県における産業振興や観光文化交流等を促進するとともに、県内各地域の振興や住民の生活向上にも寄与することが期待できる。

よって、洲本市議会は、大阪・関西における国際博覧会の開催を支援するとともに、誘致実現に向けた国内気運の醸成など、必要な取り組みを積極的に推進していく。

以上、決議する。

反対

近藤昭文（日本共産党）

「国際博覧会」がもつ意義や理念には大いに賛同するものである。しかし、今回の「国際博覧会」は、カジノを含む統合型リゾート「IR」の事業が計画されている「夢洲」に誘致を表明しており、世論調査では、大阪府民の多くが反対している。この決議文では、このことが全く触れられず、白紙委任することになる。国際博覧会とカジノを含むIR事業とは切り離して検討すべきではないか。

賛成

氏田年行（宙）

国際博覧会を大阪・関西が一体となって開催することは、日本の歴史・文化の原点である関西の素晴らしさを世界の人々に理解してもらう機会となり、関西全体の観光・文化交流の促進と関西・日本の更なる発展につながることが大いに期待されている。また、この決議文は国際博覧会の誘致に関する決議である。大阪・関西における国際博覧会の開催を支持し、誘致の実現に向けた気運の醸成など、必要な取り組みを積極的に推進する必要がある。

討論

【決議案第1号】

所管事務調査

7月5日に総務常任委員会、11日に産業建設常任委員会、17日に教育民生常任委員会の閉会中の所管事務調査を行いました。

総務常任委員会

Q 東京で予定しているアンテナショッピングはいつ頃開設できるか。
A 「企画部」洲本の特產品の状況を考えると、遅くとも11月末を目指している。

Q 未来の担い手確保事業の奨学金返済支援事業について、奨学金をもらっていない人に支援はないのか。

A 「情報部」生活扶助の考え方はもつていない。最近の報道など取り上げられているように、奨学金返済に苦労している若者などに対して奨学金返済を支援することによる就労支援事業と考えている。

Q 深日港↔洲本港航路社会実験運航事業では、採算が取れるのはどのくらいの利用が必要か。

A 「情報部」昨年は1万600人が利用。今回は冬場の欠航も予想される。財源は、地方創生推進交付金を活用し、半分が国からの交付金で、市費は1200万。8ヶ月間で2万1000人の確保を目標としている。

Q 防犯灯ＬＥＤ化について、町内会の管理は何灯か。また、今年度全て行うのか。

A 「情報部」市内4685灯のうち約1000灯がすでにLED化されている。残りを全てLED化する



▲淡路島テレビジョンの施設を見学

また、現地調査として①ポートターミナルビル（淡路島テレビジョン）②鮎愛館③企業誘致造成地（五色町鮎原吉田）④五色台霊園⑤企業誘致造成地（五色町上堺）⑥大野コミニティ消防センター（ポンプ自動車）の各施設を訪問し、調査を行いました。

教育民生常任委員会

Q マイナンバーカードの多目的利用として、諸証明書コンビニ交付サービスの実施となるが、取得できるコンビニは。A 「生活部」島内に出店されているコンビニは全国で取得でき、また島内大手スーパーでも取得できる。

午後からは7カ所の現地調査を行いました。

なかでも、幼稚園と保育所の機能を合わせ持つ認定こども園が旧県病跡地に平成31年春、開園に向けて順調に工事が進められていました。

すでに建物の全容がイメージでき、濃いオレンジ色の洋風瓦が印象的でした。

▲淡路島テレビジョンの施設を見学



▲認定こども園の建設現場を見学

施設整備事業（建設課）、市営住宅ストック総合改善事業（都市計画課）、炬口ポンプ場建設工事（下水道課）などについて同じく説明があり、その後担当部署それぞれの事業について、委員から詳細にわたり質疑を行い、事業内容や進捗状況を調査しました。

事務調査終了後、現地調査のため、大浜海水浴場、炬口防潮堤、炬口ポンプ場、宇原千草線、高田屋公園、美の越線の現場を訪問し、現状を調査確認しました。

産業建設常任委員会

産業振興部からは、扱い手

育成対策費（農政課）、ため池整備事業（農地整備課）、炬口漁港海岸防潮堤整備事業（林務水産課）、大浜海水浴場等管理・運営業務（商工観光課）などの説明があり、次に農業委員会事務局から農業委員会の組織・業務についての説明がありました。

都市整備部からは、洲本バスセンター維持管理業務（用地課）、交通安全



▲炬口防潮堤を見学

情報公開・農業振興・ため池整備などで意見交換

中川原連合町内会との共催で開催



▲熱心に意見交換が行われた議会報告会

7月26日、中川原公民館において、中川原連合町内会との共催で第16回洲本市議会報告会を開催し、市民36名が参加しました。

共催者である中川原連合町内会長からは、中川原地域での2回目となる報告会であり、また5月臨時市議会と6月定議会からの報告を聞き、参加者からの積極的な意見をお願いしました。

その後、議会運営委員会、総務・教育民生・産業建設の各常任委員会、新洲本市総合計画・予算審査特別委員会から、議会での審議内容や各委員会の活動について報告を行いました。参加者からは、「農地プランに取り組んでいますがうまくいかない。どうすればいいか」「ため池の点検とあるが、どんな内容か。個人池



なども調査するのか」など、様々な意見や要望が出されました。答えられる内容については、関係する議員から答弁をさせていただきました。また、寄せられた貴重なご意見やご要望は、理事者側に伝え、回答については連合町内会長にお伝えすることとしています。

市民の皆さまからいただいたご意見やご質問は、今後の議会活動に役立ててまいります。

傍聴へどうぞ

9月定例市議会は
9月7日(金)から
開会予定です



詳しい日程は、洲本市議会ホームページにてご確認ください。

編集後記

◆活発な梅雨前線による

西日本を中心とした記録的な大雨により、各地で

死者、安否不明者の人的被害のほか、多くの家屋にも甚大な被害が発生しました。洲本市内では道路の通行止めや、由良・鳥飼浦地区で避難勧告が出されるなど、市民生活にも大きな影響がありました。被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。◆淡路関空ラ

インの定期航路運航休止に、地元の観光や行政の関係者からは落胆する声が多く聞かれました。◆

平成30年度から10年間を計画期間とする新たな「新洲本市総合計画」が策定されました。今後、まちづくりの方向性を示すもののです。◆今回より議会報編集特別委員会新メンバーによる編集作業となりましたが、読みやすく伝わる誌面作りに心がけてまいりますので、毎回楽しみにしてください。

(清水)
がうまくいかない。どうすればいいか」「ため池の点検とあるが、どんな内容か。個人池